国際ロータリークラブ第2730地区　日南ロータリークラブ

週　　報

「変化への対応そして創造」

例会日　毎週水曜日　12：30～　　例会場　ホテルシーズン日南
住所　日南市園田3-11-1　TEL 0987-22-5151　FAX 0987-22-9588　　会長　村岡俊宏

水と衛生月間

第3266回例会		№23	2021.04.07	晴れ
点鐘・国歌・ロータリーソング	12時30分　「国歌」　「奉仕の理想」			
ロータリーの目的	菊池希樹　君			
例会行事	結婚・誕生者卓話			

会長時間

今年初めての理事会を開くことができました。コロナ禍の中、なかなか思うような例会が開催できず、苦慮していますが、皆様のお力を賜り少しでも前に進められる様、努力していきます。宜しくお願い致します

3月27日の宮崎県クラブ会長会議の報告をします。宮崎県28クラブ中、27クラブの出席がありました。風呂井ガバナーをはじめ地区幹事、各部門長、各地区ガバナー補佐4名、総勢38名の出席で開催されました。今年度、各部門長の今後の活動計画は、次のとおりです。川原会員増強部門長は、会員増強が一番大事であると言われています。女性会員を増やすこと、女性が会員増強委員長になると会員が増えるとの報告もありました。田中奉仕部門長は、台湾での国際大会がWEB開催になったことを報告されました。押川ロータリー財団部門長は、地区補助金をもらわれたクラブが報告義務があることを話されました。長嶺米山部門長は、寄付金を納めていないクラブがあることを報告されました。当クラブは、納めてあります。尾形広報公共部門長は、ホームページのことと、マイロータリー推進、加入のことを話されました。それから、各クラブの活動事例報告がありました。その中で、休会なしのクラブの報告がありました。小林中央RCは、通常例会を昨年は12回中12回開催されていました。会員が少ないから開催できたと話されていました。宮崎アカデミーRCも月１回の例会開催なので、通常通りの開催を行われたそうです。すべて、ZOOMを使ったWEB開催です。ほとんどのクラブが、短縮例会か休会にされた回数が多かったです。高鍋RCは、「秋月鶴山」（高鍋藩の要人）の本を各小学校へ寄贈されていました。西都RCは、都城医師会病院からの依頼があり500個のスイーツと手書きの励ましの言葉を書いて贈られたそうです。宮崎北RCは、宮崎市内の医療従事者・関係者・保健所職員に対し会員手織りの千羽鶴9000羽と1900個のスイーツをコロナ対策病院に贈られたそうです。当クラブとして、そこまで対応ができなかったことを深く反省しています。

ZOOMを使っての会議でしたが、スムーズに会議が行われました。わざわざ、出向いていく手間暇が削減できることは良いことですが、やはりリアルでの会合が良いとも思いました。先日ZOOMの話をしましたが、様々なことでIT化、デジタル化とテクノロジーの進化が顕著にみられます。

最近「DX（デジタルトランスフォーメーション）」という言葉をよく耳にするようになりました。聞きなれない言葉ですが、世の中のバラバラだったテクノロジーが融合することで、今後10年で100年分の技術進歩が起きようとしていると言います。たった10年でと思いますが、10年前を思い起こしてください。やっと携帯電話を使うようになったのが、瞬く間にスマホにとって代わりました。現在、普及率は、67%を　こえているようです。「シニア世代はスマホを使いこなせない」とされていましたが、普及率は、50%以上になっているそうです。コロナ禍の中で、帰省が難しい状況下でせめてテレビ電話でもよいから顔を見たいという願いをスマホが叶えてくれるからだそうです。その他、お財布代わりになるし、辞書、本、カレンダー、メモ帳などの機能もあり、何役もこなしてくれる便利なものです。スマホの出現で生活スタイルは大きく変わりました。これから、さらに世界が一変すると聞いてわくわくする一方、今までの主要産業が一つ残らず、まったく新しい姿に生まれ変わるものと考えられています。

「スマホ脳」というベストセラーによると、私たちの脳は今なおサバンナで暮らしている状態だとも言います。人間が地球上に表れてからの時間を換算すると、狩猟・採集時代が全体の99.9%だそうです。脳は今でも当時の生活様式に最適化されたままで、急激な変化に不安を覚えるのは仕方のないことらしいそうです。しかし、せっかくの大変革時代に遭遇していることをチャンスと　とらえ不安感だけでなくワクワク感で楽しんだらどうでしょう。

本年度スローガンは『変化への対応そして創造』です。今年度もあと３か月、ロータリーの活動もコロナの影響でずいぶんと制限されましたが、できることを一つ一つやり遂げていき、前に進んでいきたいものです。

幹事報告

理事会報告

1) 翡翠賞の件・・・・委員会に一任、6 月までに
2) 入会・退会者の件・・鹿銀上原氏の入会申込、片桐美香君退会 3/31
3) 落丸正博君出席免除申し出の件

委員会報告

親睦委員会　　誕生者　田島逸男君（1951）築瀬　敦君（1966）豊田裕康君（1973）竹井崇利君（1957）
野崎正彦君（1946）鷹衛哲郎君（1954）
誕生　　竹井崇利君（1984）石灘寛樹君（2011）石崎智則君（2006）

スマイル

竹井崇利君　家内が、脊椎管狭窄症の手術で一か月入院していましたが、無事昨日退院しました。昨日は、結婚 37 年目のお祝いをする事が出来ました。

齋藤奈々君　先月は、仕事の都合で欠席ばかりで申し訳ありませんでした。突発的なお仕事で予測がつきません。今月は出席できるよう祈ります。

例会行事　　結婚・誕生者卓話

鷹衛哲郎君（結婚）

本日は誕生日のプレゼントありがとうございました。4 月 23 日で満 67 歳になります。

いつもながら嫁や子供、孫たちからも誕生日プレゼントを貰いますが、いくつになっても大変嬉しいものです。この年になると誕生日が迎えられた嬉しさがある反面、人生も第 3 コーナーを通り過ぎて、死期が着実に近づいているなぁと思う、今日この頃であります。

健康寿命についてちょっと触れてみたいと思います。データーが古いですが、2016 年の調査によりますと、男性の健康寿命は 72.14 歳、女性が 74.79 歳だそうです。67 歳の私もあと 5 年もすると自立した生活ができなくなる可能性が非常に高いと言うことになります。これは大変なことになるなと思っています。自分や家族の為にも、少しでも負担を減らすため健康でいられるよう注意するとともに努力もしなければならないと思っております。

家に閉じ籠らないように、ゴルフや飲み会に参加するとともに、体のケアにも心がけたいと思います今後ともお誘いお付き合いのほどよろしくお願いいたします

竹井崇利君（結婚）（誕生）

結婚、誕生のお祝い有難うございます。64歳になりました。結婚37年目を迎えます。

実は、昨日妻が1ヶ月ほど入院をしておりまして、昨日退院致しました。病名は腰椎すべり症よる腰部脊椎管狭窄症です。加齢により変形した椎間板を摘出して、人工のチタンを頑丈な土台として、切除した自分の骨と一緒に埋め込む手術です。無事に成功して、腰の痛みしびれがなくなり良かったです。これから夫婦円満、お互い元気に過ごしたいと思います。

話は変わりますが、私の出生は実は昭和32年3月31日です。ですから学年は1つ上になります。小学校の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わります。なのに何故、子供の学年の分け方は4月2日から翌年の4月1日ま

でになっているのか？誕生日の前日が終了するときに年をひとつとるとされています。つまり4月1日生まれの人は、3月31日の深夜12時に年を取っているのです。つまり、4月1日生まれの子は3月31日の深夜12時に満6歳になります。4月2日生まれの子は、4月1日の深夜12時に満6歳になる、ということです。

親としては1年学年上での入学は体力的にも学力的にも可哀そうと思いから出生届をずらしたということでした。

豊田裕康君（誕生）

今月で48歳になります。38歳でロータリーに入会させて頂きましたので，入会10年目となります。

私の事務所も今の場所にできて20年目となりますが，当時の日南串間の人口は約85000人で，現在は約66000人で人口減少が続いています。令和3年2月に日南市の人口が始めて5万人を切ってしまいました。

国の将来推計人口が発表されていますが，これまではほぼ予測どおりに人口減少が続いていて，これによると2045年に日南市の人口は31,695人となっています。そのうち65歳以上が23,848人で，人口の8割近くが高齢者という超高齢化社会となる予想となっております。

4月4日にズームを利用して次年度会長研修（ＰＥＴＳ）があり，コロナ自粛の中でもＺＯＯＭを利用した例会を開催してきた例が紹介され，次年度はコロナを理由とした休会をできるだけ行わないようにして欲しいとの話しでした。次年度については，できるだけ休会をしないやり方ができないか検討したいと思います。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	ＨＣ出席	MU	欠席	出席	出席率
今　週	33	3	30	18	6	4	24	80.00%
出席免除	村上、清水、小玉、							
先取MU	榎木田、村社、石崎、日髙、古澤、簗瀬							
欠　席	石灘、野崎、峰松、渡邊							

事務局〒887-0014　日南市岩崎3-4-2 Itten堀川ビル2F創客創人センター内TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515
会長：村岡俊宏　　副会長：豊田裕康　　幹事：黒岩久登　　雑誌会報広報委員長：河野通郎
雑誌会報広報委員会より　　原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jpまで送信してください。